

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月31日

事業所名 はあとf+i中央

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|----|--|----|-----|---------------------|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 3 | 2 | 指導訓練室を用途によって使い分けている | ・大勢で過ごす部屋と少人数で過ごす部屋があり、児童の精神状態・体調で使う部屋を分けて活動を行っている。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 4 | 1 | | ・送迎中は人数が手薄になることがあるが、必要な人員は配置している。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 4 | 1 | | ・トイレについては車いすも入れるスペースがあり、手すりを設置している。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 4 | 1 | | ・朝礼時や研修後など、随時実施。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 5 | | | ・半年に1回アンケート調査を実施。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 2 | 3 | | ・今回が初の実施となるため、実施後公開予定。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 3 | 2 | | ・今後実施予定。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 5 | | 毎月1回研修実施 | ・毎月研修を実施し、他事業所の職員とも情報共有・グループワークを実施。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 5 | | | ・保護者からの相談があれば、随時面談を行い、児童・保護者のニーズを支援計画に落とし込むようにしている。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 4 | 1 | | ・アセスメントツールについては共通のものを使用。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 4 | 1 | | ・活動プログラムは職員全員で立案・検討し、児発管が支援計画に落とし込む。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 5 | | | ・活動プログラムの見直しは随時実施。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 4 | 1 | | ・活動時間によって、課題・作業等の内容を調整して、支援を実施している。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 4 | 1 | | ・上記の通り部屋が用途によって使い分けられるので、集団・個別の活動を実施。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 4 | 1 | 毎日朝礼実施 | ・朝礼にて実施。不参加者は供覧にて確認。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 4 | 1 | 毎日送迎後実施 | ・送迎後に実施。不参加者は供覧にて確認。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 5 | | 毎日の記録実施 | ・児童の様子・体調等は毎日記録を実施。 |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 5 | | | ・定期的なモニタリング実施。 ・必要がある場合は、こちらから保護者に面談を行い、計画の見直し・更新を実施。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている | 3 | 2 | | ・ガイドラインを改めて周知し、基本活動の見直しを行う。 |

| | | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|---------|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 4 | 1 | | ・管理者or児発管が主に参加し、場合によっては職員も参加している。 ・参加が難しい場合は、事前に児童の状況・課題を共有し、記録を作成している。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 4 | 1 | | ・随時連絡を実施。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 2 | 3 | | ・現在該当児童がいないため、未実施。今後これに該当する児童が利用する場合は、連絡を行う。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 5 | | | ・事前に情報を共有し、児童の支援を行っている。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 3 | 2 | | ・現在該当児童がいないため、未実施。今後これに該当する児童が利用する場合は、連絡を行う。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 4 | 1 | | ・随時連絡を実施。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | 5 | | ・現在未実施。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | | 5 | | ・現在未実施。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 5 | | 随時面談実施 | ・必要であれば、随時面談を実施している。 |
| 保護者への説明責任等 | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 3 | 2 | | ・保護者からの困りごとについて、随時面談を行い、助言を行っている。 |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 5 | | | ・契約時の説明と不明点については管理者が実施。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 5 | | | ・保護者からの相談事については随時対応実施。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 1 | 4 | | ・現在未実施。 ・土日営業の際に父兄で参加できるイベントを企画する。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 5 | | | ・苦情・相談があった場合は、管理者・児発管に報告し、事業所内で共有・検討を実施。 ・契約時の重要事項説明書にも苦情窓口を記載済。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 4 | 1 | | ・行事予定やおたよりを発行し、今後の予定や児童の様子を発信している。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 4 | 1 | | ・利用児童の個人情報が記載されたファイルについては、鍵付きの棚に保管している。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 5 | | LINEを活用 | ・LINEを活用し、児童の状況や行事予定等を連絡。 |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|----------|--|
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 3 | 2 | | ・現在感染症対策等のため、招待者は限定しているが、今後安全が確保できるようになれば招待を行う。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 4 | 1 | | ・マニュアルはあるが、職員・保護者に対し、改めて周知が必要。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 5 | | | ・非常災害・防犯に関する研修・訓練を定期的に実施。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 5 | | 毎年1回研修実施 | ・毎年研修を実施し、他事業所の職員とも情報共有・グループワークを実施。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 4 | 1 | | ・現在該当児童がいないため、未実施。今後これに該当する児童が利用する場合は、記載を行う。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 5 | | | ・アレルギー等がある児童については、事前の申し送りで情報共有し、他児童と食器を分ける等の対応を実施。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 4 | 1 | | ・ヒヤリハット事例の共有・検討は実施しているが、事例集の作成が未実施のため、今後実施する。 |